

XPass S2

設置ガイド

バージョン 2.23

日本語

JA 101.00.XPS2 V2.23A

目次

安全にお使いいただくために	3
はじめに	5
部品	5
機能	6
部品の名前と機能	6
ケーブルとコネクタ	7
設置場所	8
ブラケットと製品の取り付け	8
メインブラケットの取り付け	8
拡張ブラケットの取り付け	9
電源への接続	10
ネットワークへの接続	10
TCP/IP	10
ドアボタン/ドアセンサーへの接続	11
デジタル入力接続（ドアボタン、ドアセンサー）	11
デジタル入力接続（アラーム、緊急スイッチ）	11
リレーへの接続	12
フェールセーフロック	12
フェールセキュアロック	12
自動ドアへの接続	13
スタンドアロンでの接続	13
Secure I/O 2 への接続	14
Wiegand デバイスとしての接続	14
ネットワーク設定のリセット	15
工場出荷時のデフォルト設定の復元	15
製品仕様	16
製品仕様	16
寸法	17
FCC 準拠情報	18
付録	19
免責事項	19
著作権表示	19

安全にお使いいただくために

製品を使用する前に、次の手順を注意深くお読みください。この情報は、ユーザーの安全性を確保し、ユーザーの所有物の破損を防止する上で重要です。



警告

指示に違反した場合、重傷または死亡につながる恐れがあります。

設置手順

直射日光の当たる場所や湿気の多い場所に製品を設置しないでください。

- 火災や感電の原因になります。

本製品を、乾燥した場所に設置してください。

- 湿気は、製品の損傷や感電の原因となることがあります。

本製品を、熱器具の近くなど高温になる場所に置かないでください。

- 過熱による火災や感電の原因になることがあります。

本製品を、電磁妨害のない場所に設置してください。

- 製品の損傷または感電を引き起こす恐れがあります。

製品の設置または修理は、認定サービス担当者に任せてください。

- そうしないと、火災、感電、または負傷の原因となる可能性があります。
- ユーザーが製品を権限なく設置または撤去したために製品が破損した場合は、修理料金が請求されます。

操作手順

製品内部に水、飲み物、化学薬品などの液体がこぼれないように注意してください。

- 火災、感電、製品損傷を引き起こす恐れがあります。



注意

これらの指示を無視した場合、軽傷または製品の損傷を招く可能性があります。

設置手順

電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護します。

- 製品の損傷または負傷を引き起こす恐れがあります。

本製品を、磁石、テレビ、モニター（特に CRT モニター）、スピーカーなど強い磁気を発する物の近くに置かないでください。

- 製品の故障につながる可能性があります。

本製品を野外に設置する場合は、囲いの中に設置することを推奨します。

Secure I/O 2、電子ロック、および Xpass S2 ごとに独立した電源を使用してください。

- これらのデバイスを同じ電源に接続して使用すると、デバイスが正常に機能しない場合があります。

IEC/EN 62368-1 の認可を受けた、製品の電力消費量以上に対応する電源アダプタを使用してください。Suprema が販売する電源アダプタを使用することを強くお勧めします。

- 適切な電源を使用しないと、本製品が正しく動作しない恐れがあります。
- 最大消費電流の仕様については、製品仕様の電源を参照してください。

操作手順

使用中に製品を落したり、打撃や衝撃を与えたりしないでください。

- 製品の故障につながる可能性があります。

製品のボタンを強く押したり、鋭利な工具で押したりしないでください。

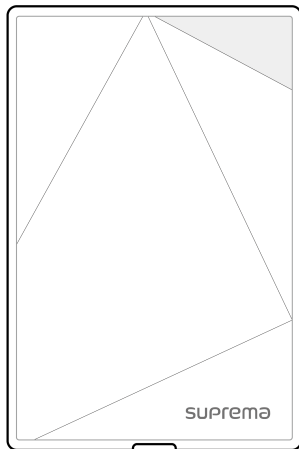
- 故障につながる可能性があります。

柔らかい乾いた布で製品を拭いてください。アルコール、ベンゼン、または水は使用しないでください。

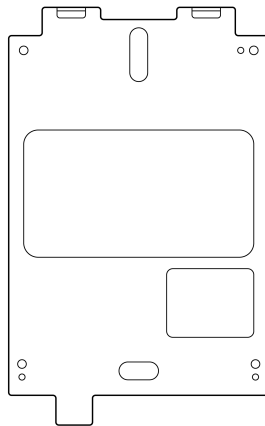
- 製品の故障につながる可能性があります。

はじめに

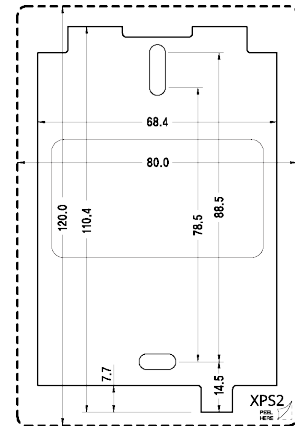
部品



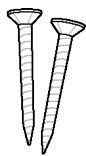
XPass S2



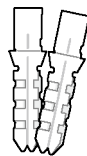
メインブラケット



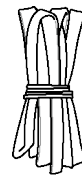
穴あけ用テンプレート



固定ねじ x2



PVC アンカー x2



収縮チューブ



ダイオード

ブラケット固定ネジ
(星型)

120 Ω 抵抗器



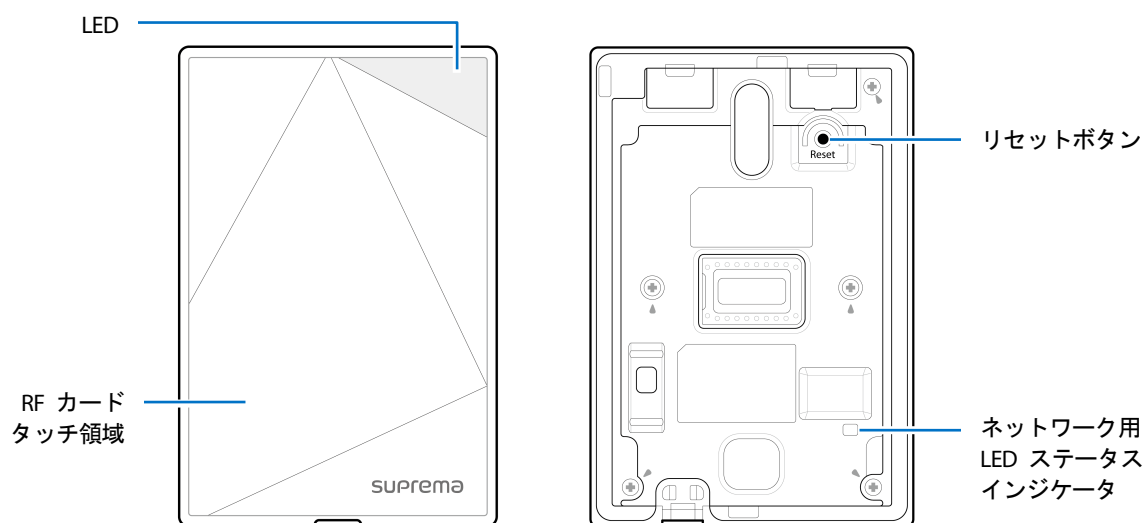
クイックガイド

注意

製品の設置場所によって、部品が異なる場合があります。

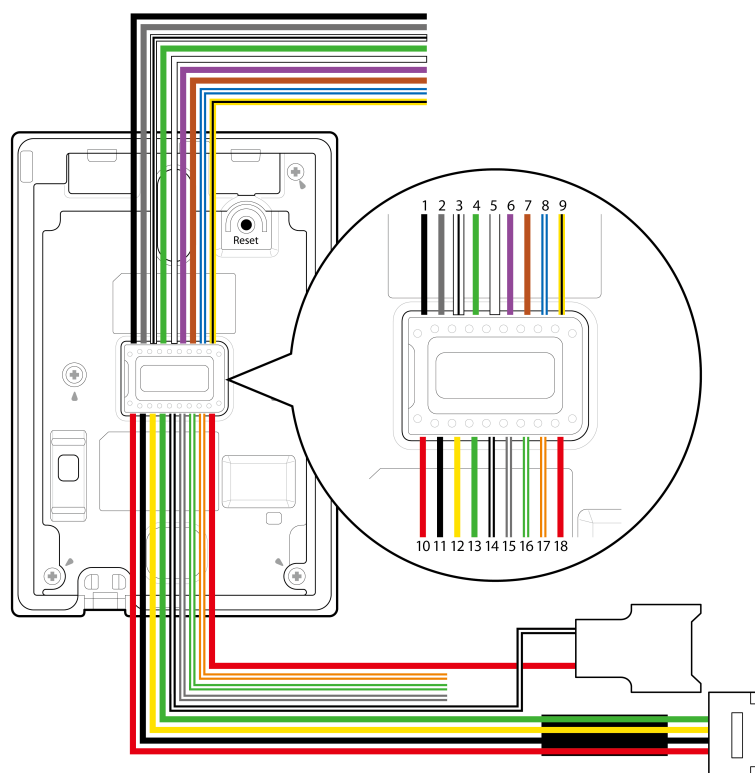
機能

部品の名前と機能



名前	機能
LED	<ul style="list-style-type: none"> ● 緑：認証成功 ● 赤：認証失敗 ● ピンク：処理中 ● 青と水色が 2 秒ごとに交互に点滅：通常の動作 ● 赤とピンクが 2 秒ごとに交互に点滅：デバイスがロックされています。 ● 青と赤が 2 秒ごとに交互に点滅：内部バッテリーが空のため、時計がリセットされました（時計を再設定する必要があります）。 ● 青と黄が 2 秒ごとに交互に点滅：DHCP が USE に設定されているときに、IP アドレスが受信されていません。 ● 最初の使用時に赤が 2 秒ごとに点滅：リセットに失敗しました。製造元に問い合わせてください。 ● 黄色が短く点滅：入力を待機しています。
RF カードタッチ領域	入退出用に RF カードを読み取ります。
リセットボタン	<ul style="list-style-type: none"> ● デバイスが正しく動作しない場合に、ネットワーク設定をリセットします。詳細については、「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。 ● デバイス上のすべてのデータと証明書を削除し、設定をリセットします。詳細については、「工場出荷時のデフォルト設定の復元」を参照してください。
ネットワーク用 LED ステータスインジケータ	ネットワーク接続のステータスを表示します。

ケーブルとコネクタ



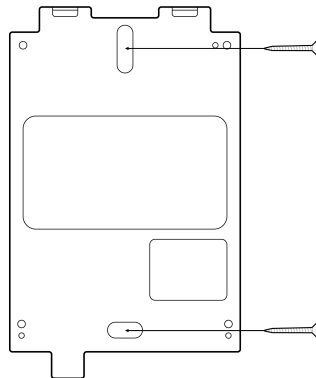
ピン	名前	色
1	WG GND	黒
2	TTL GND	グレー
3	485 GND	白（黒のストライプ）
4	WG D0	緑
5	WG D1	白
6	TTL IN0	紫
7	TTL IN1	茶
8	485 TRXP	青（白のストライプ）
9	485 TRXN	黄（黒のストライプ）
10	ENET TXN	赤
11	ENET TXP	黒
12	ENET RXN	黄
13	ENET RXP	緑
14	PWR GND	黒（白のストライプ）
15	RLY NO	グレー（白のストライプ）
16	RLY COM	緑（白のストライプ）
17	RLY NC	オレンジ（白のストライプ）
18	PWR +VDC	赤

設置場所

ブラケットと製品の取り付け

メインブラケットの取り付け

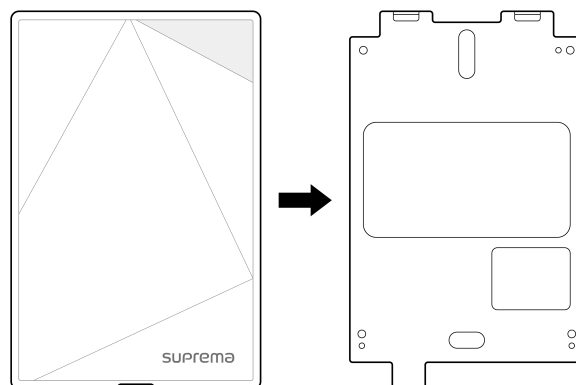
- 1 ブラケットの固定ねじを使用して、Xpass S2 を取り付ける面にブラケットをしっかりと取り付けます。



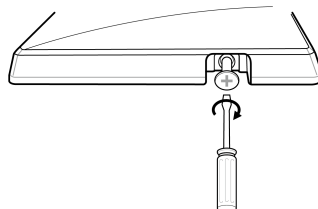
注意

Xpass S2 をコンクリート壁に取り付ける場合は、ドリルで穴をあけてから、固定ねじを締める前に、穴に PVC アンカーを挿入します。

- 2 固定したメインブラケットに Xpass S2 を取り付けます。

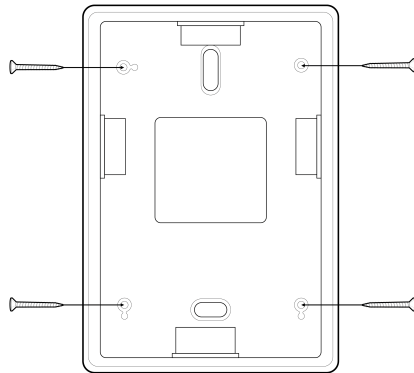


- 3 Xpass S2 の底面にある固定ねじを締めて、Xpass S2 をメインブラケットに組み付けます。

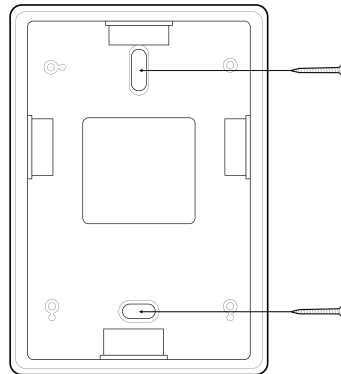


拡張ブラケットの取り付け

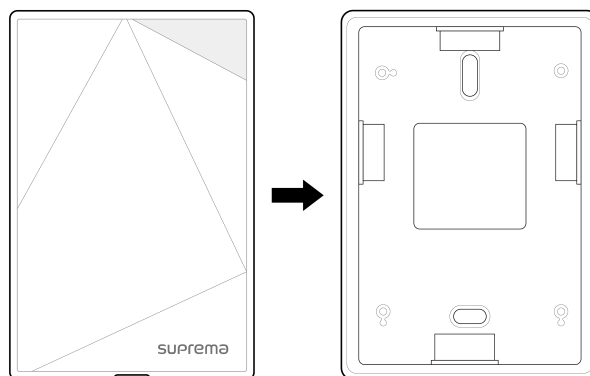
- 1 拡張ブラケットに付属しているねじを使用して、拡張ブラケットをメインブラケットに組み付けます。



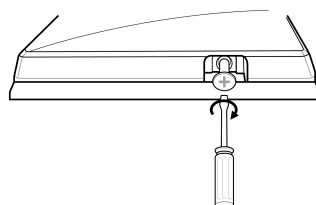
- 2 ブラケットの固定ねじを使用して、組み付けた拡張ブラケットを所定の位置に取り付けます。



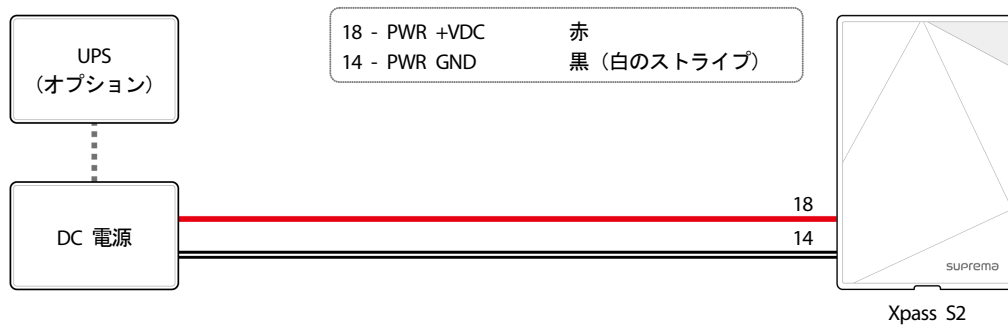
- 3 固定した拡張ブラケットに Xpass S2 を取り付けます。



- 4 Xpass S2 の底面にある固定ねじを締めて、Xpass S2 を拡張ブラケットに組み付けます。



電源への接続



注意

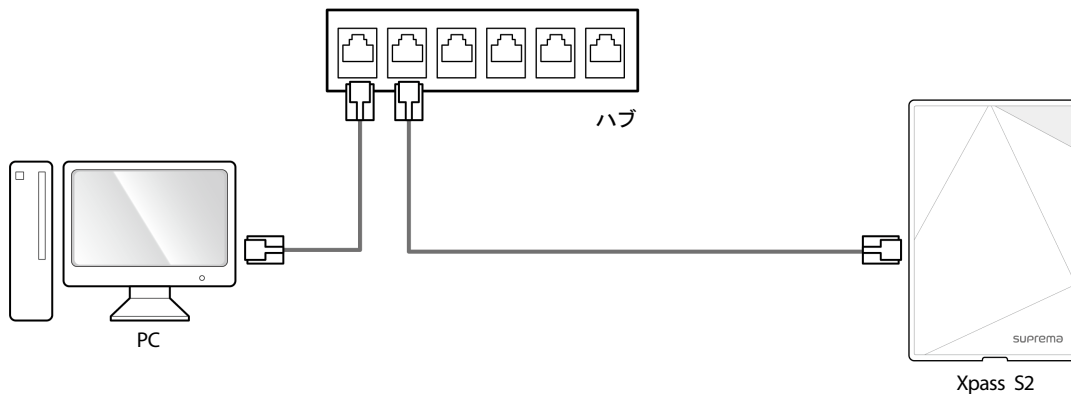
- IEC/EN 62368-1 の認可を受けた、製品の電力消費量以上に対応する電源アダプタを使用してください。別のデバイスを電源アダプタに接続して使用する場合は、端末と別のデバイスに必要な合計の電力消費量以上の電流容量を備えたアダプタを使用してください。
- 最大消費電流の仕様については、製品仕様の電源を参照してください。
- 電源アダプタを使用する場合は、電源ケーブルの長さを延長しないでください。
- Secure I/O 2、電子ロック、および Xpass S2 ごとに独立した電源を使用してください。これらのデバイスを同じ電源に接続して使用すると、デバイスが正常に機能しない場合があります。

ネットワークへの接続

TCP/IP

LAN 接続（ハブに接続）

ハブへの接続には通常の CAT-5 ケーブルを使用できます。



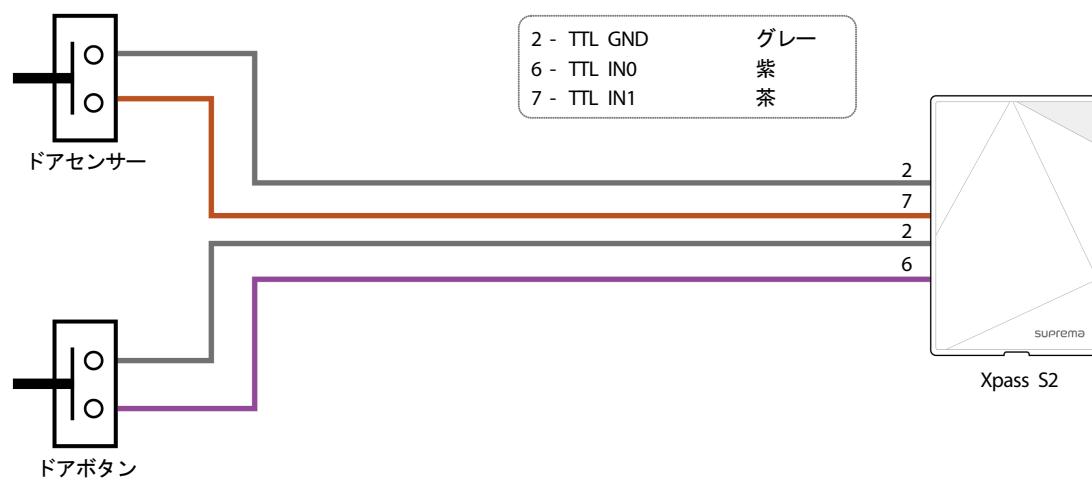
LAN 接続（PC に直接接続）

Xpass S2 は、自動 MDI/MDIX 機能をサポートしているので、通常タイプの CAT-5 ケーブルを使用して、PC に直接接続できます。

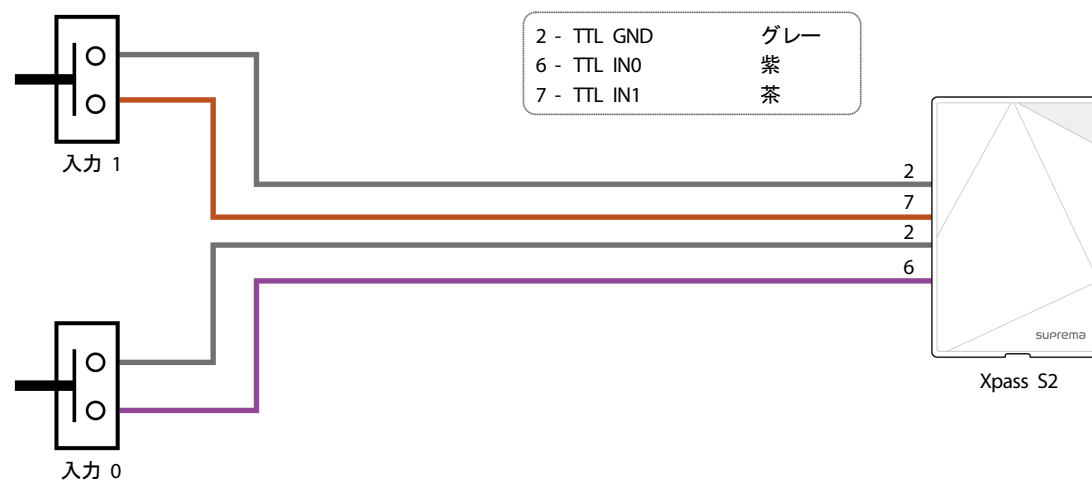


ドアボタン/ドアセンサーへの接続

デジタル入力接続（ドアボタン、ドアセンサー）



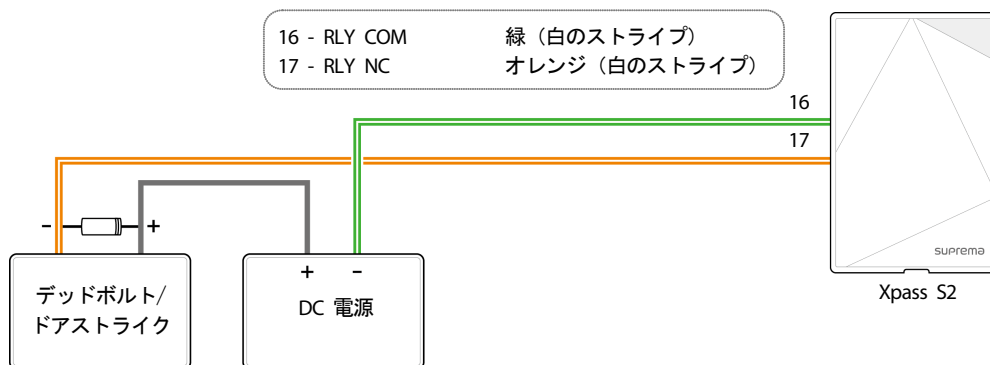
デジタル入力接続（アラーム、緊急スイッチ）



リレーへの接続

フェールセーフロック

フェールセーフロックを使用するには、以下に示すように N/C ターミナルを接続します。通常はリレーに電流が流れており、電流の流れが遮断されてリレーが作動すると、ドアが開きます。外部の要因により停電や電力障害が起きた場合、ドアが開きます。

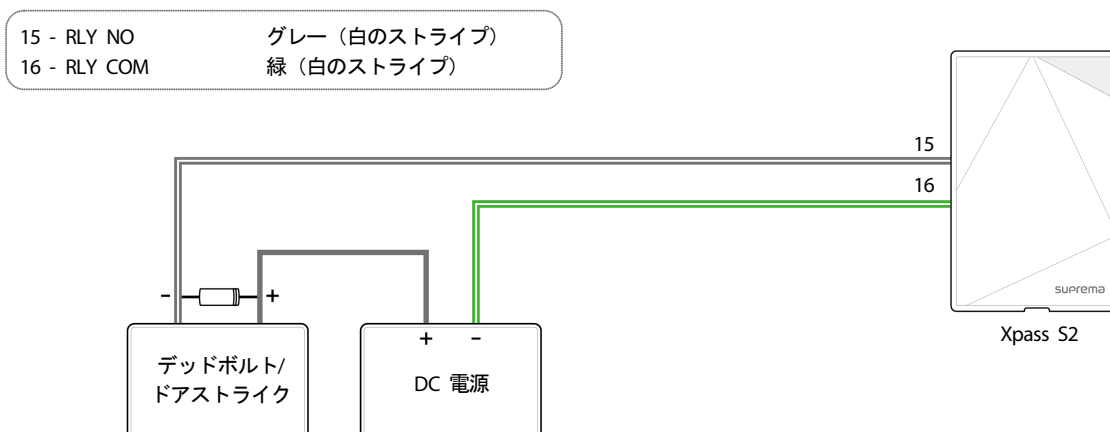


注意

- 図のようにドアロックデバイスのワイヤーの両側にダイオードを取り付けて、ドアロックデバイスの作動時に引き起こされる逆電流による損傷からリレーを保護します。
- 取り付けたダイオードの方向が正しいことを確認します。
- ダイオードはドアロックデバイスの近くに取り付けます。
- Xpass S2 とドアロックデバイスには別々の電源を使用してください。
- Suprema のスタンドアロン型インテリジェントリーダーには、外部コントローラなしでドアを直接ロック/アンロックできる内部リレーが内蔵されており、利便性が向上しています。ただし、セキュリティを必要とする入退管理の用途では、ドアのロック解除を引き起こす可能性のある改ざん攻撃を防止するため、リーダーの内部リレーの使用はお勧めしません。このような用途では、ドアの安全な側に設置された Suprema の Secure I/O 2、DM-20、CoreStation などのロックコントロールには個別のリレーユニットを使用することを強くお勧めします。

フェールセキュアロック

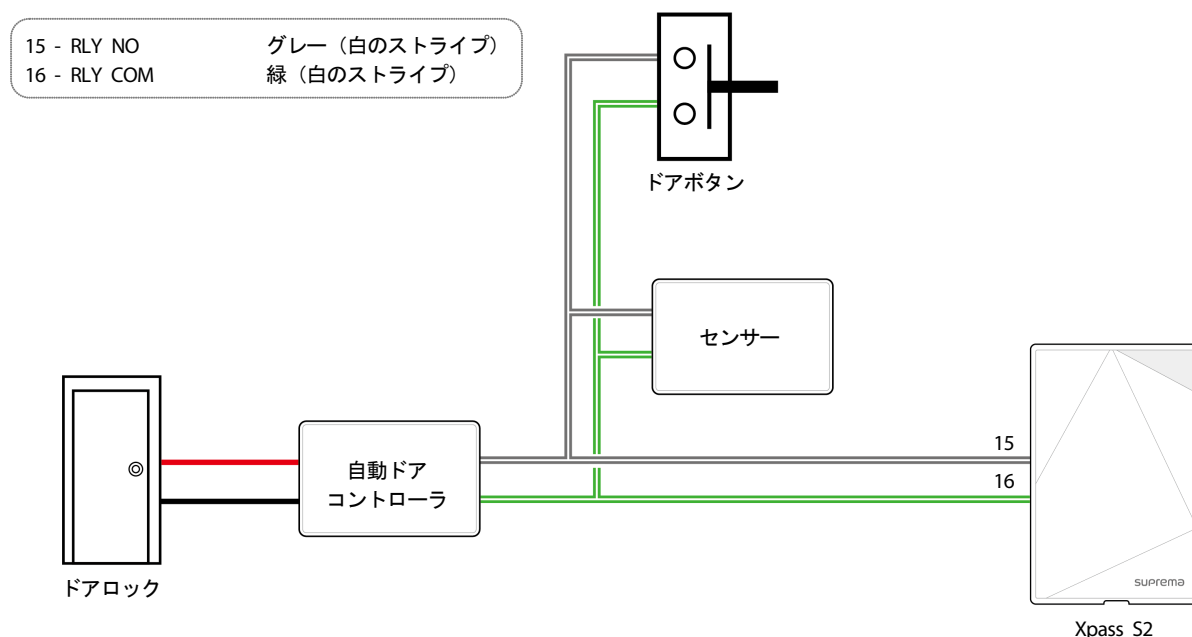
フェールセキュアロックを使用するには、N/O ターミナルを以下のように接続します。通常はリレーに電流は流れておらず、電流によってリレーが作動すると、ドアが開きます。外部の要因により停電や電力障害が起きた場合、ドアはロックされます。



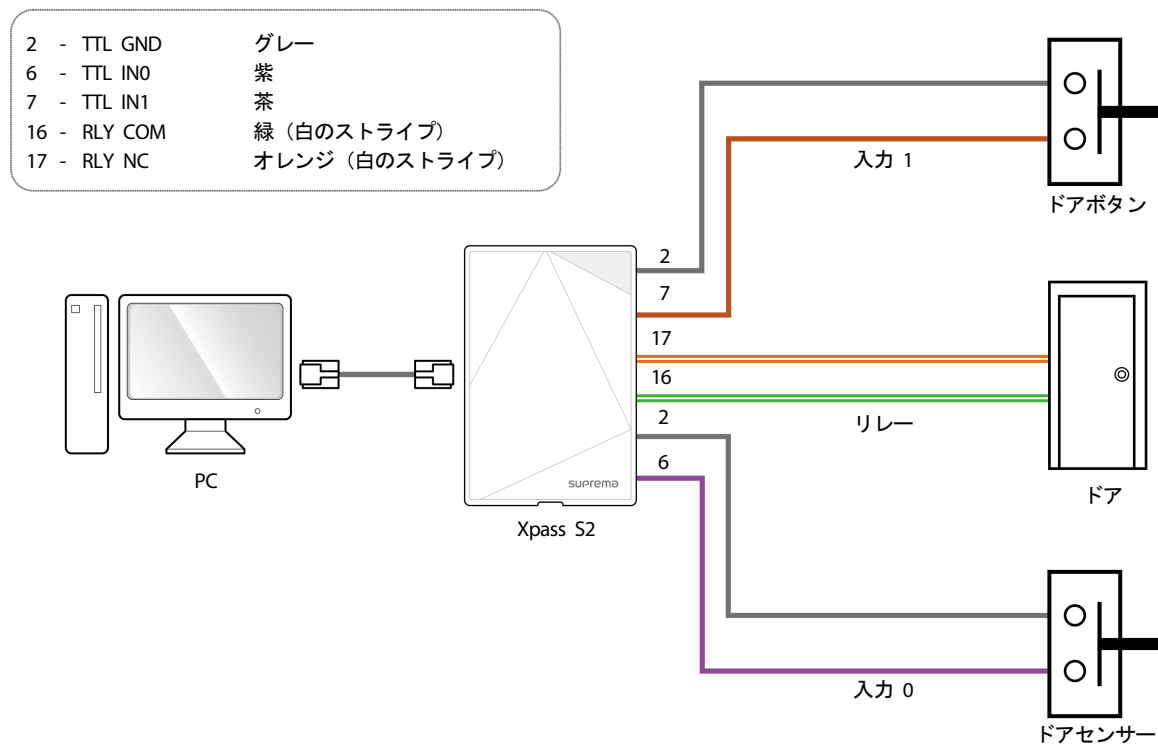
注意

- 図のようにドアロックデバイスのワイヤーの両側にダイオードを取り付けて、ドアロックデバイスの作動時に引き起こされる逆電流による損傷からリレーを保護します。
- 取り付けたダイオードの方向が正しいことを確認します。
- ダイオードはドアロックデバイスの近くに取り付けます。
- Xpass S2 とドアロックデバイスには別々の電源を使用してください。
- Suprema のスタンドアロン型インテリジェントリーダーには、外部コントローラなしでドアを直接ロック/アンロックできる内部リレーが内蔵されており、利便性が向上しています。ただし、セキュリティを必要とする入退管理の用途では、ドアのロック解除を引き起こす可能性のある改ざん攻撃を防止するため、リーダーの内部リレーの使用はお勧めしません。このような用途では、ドアの安全な側に設置された Suprema の Secure I/O 2、DM-20、CoreStation などのロックコントロールには個別のリレーユニットを使用することを強くお勧めします。

自動ドアへの接続



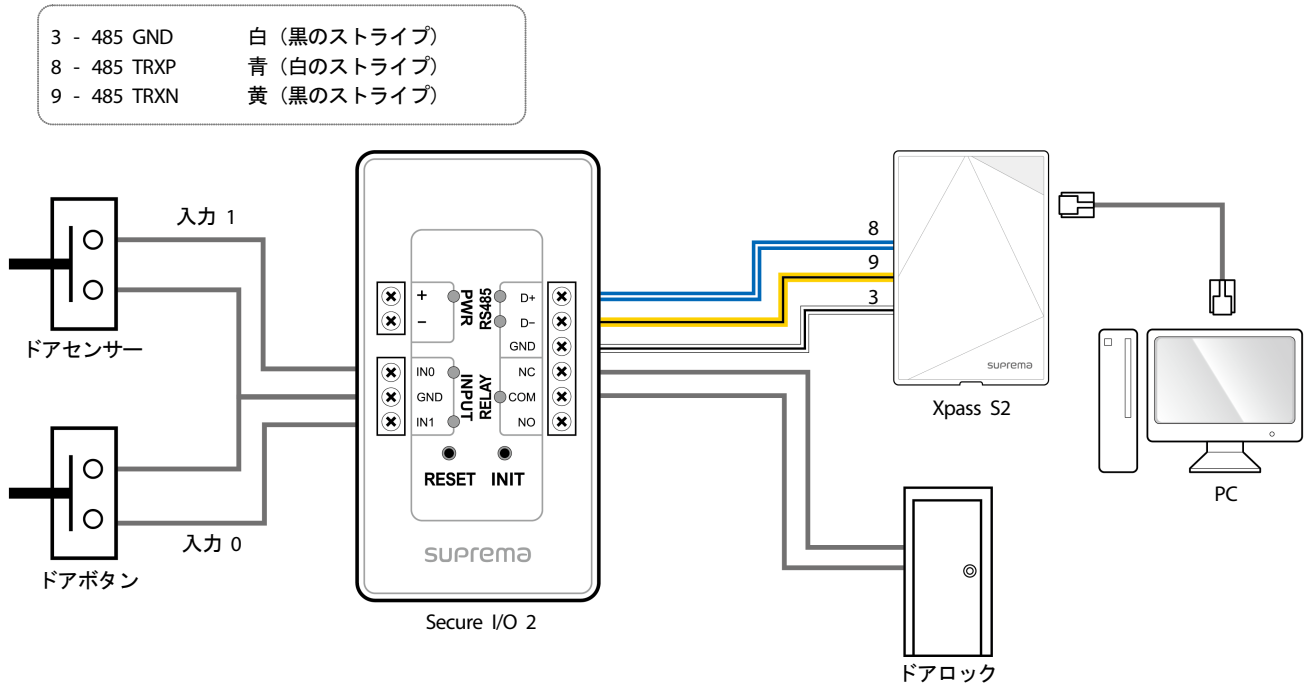
スタンドアロンでの接続



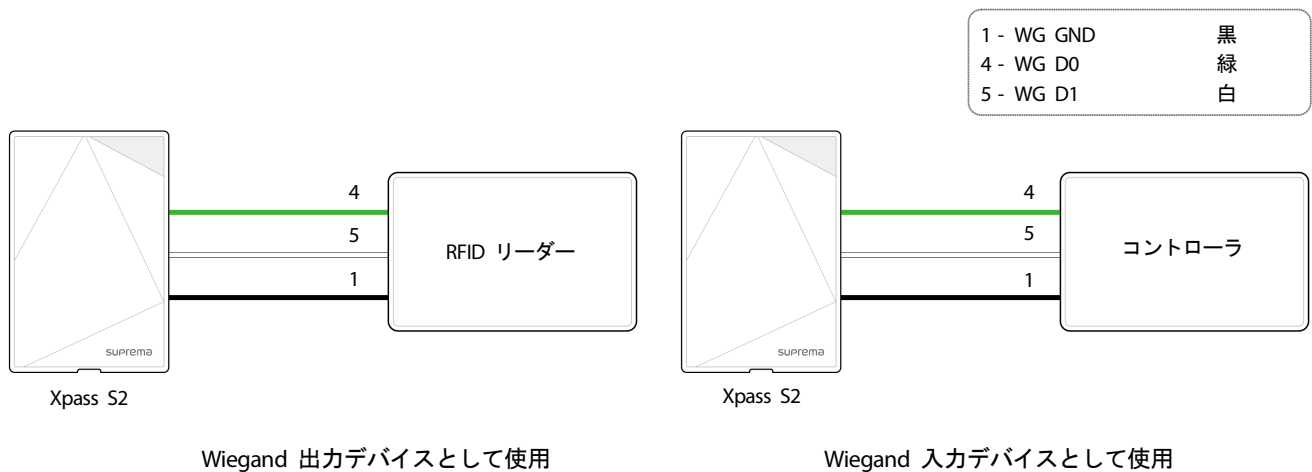
Secure I/O 2 への接続

接続については、次の図を参照してください。

- RS-485 には AWG24 ツイストペアを使用してください。最大長は 1.2 km です。
- 終端抵抗 (120 Ω) を RS-485 デイジーチェーン接続の両端に取り付ける必要があります。チェーンの中央に取り付けた場合、信号レベルを下げるため、通信中の性能が低下します。
- 最大 32 台のデバイスをデイジーチェーンで接続できます (1 台のマスターデバイスと 31 台の他のデバイス)。



Wiegand デバイスとしての接続



ネットワーク設定のリセット

- 1 電源を入れます。
- 2 ブザーが鳴るまでリセットボタンを長押しします。
- 3 デバイスをデフォルト値で接続します。
 - TCP/IP アドレス : DHCP アドレス割り当て (DHCP アドレスの割り当てに失敗した場合は、169.254.0.1 が設定されます)。
 - サーバーモード : 無効
 - RS-485 : デフォルトの 115200 bps
- 4 TCP/IP アドレスまたは RS-485 情報を変更します。
- 5 電源をいったん切った後、もう一度入れて、ネットワーク設定が正しいことを確認します。

工場出荷時のデフォルト設定の復元

これにより、デバイス上のすべてのデータとルート証明書が削除され、設定がリセットされます。

- 1 電源を入れます。
- 2 リセットボタンをすばやく 3 回押します。
- 3 黄色の LED が点滅している場合は、リセットボタンをもう一度押してください。

注意

- デバイスにルート証明書がない場合は、工場出荷時のデフォルト設定に復元できません。

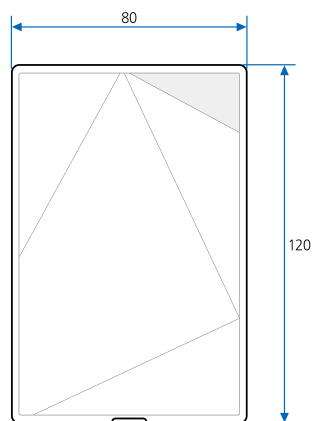
製品仕様

製品仕様

カテゴリ	機能	仕様
メイン	IP レーティング	IP65
	RF カード	XPS2M : 13.56 MHz MIFARE、MIFARE Plus、DESFire/EV1 (CSN)、FeliCa、ISO14443A、ISO15693
	マルチコントローラ	サポート対象
キャパシティ	最大ユーザー数 (1:1)	50,000
	最大ユーザー数 (1:N)	50,000
	テキストログの最大数	100,000
インターフェイス	TCP/IP	サポート対象
	RS-485	1 チャンネルホストまたはスレーブ (選択可能)
	Wiegand	1 チャンネル入力または出力 (選択可能)
	TTL 入力	入力 2
	リレー	リレー 1
リレー	電圧	最大 24 VDC
	電流	通常 0.5 A、最大 1.0 A
ハードウェア	CPU	533 MHz DSP
	メモリ	16 MB RAM + 16 MB フラッシュ
	LED	マルチカラー
	サウンド	16 ビット Hi-Fi
	動作温度	-35 °C ~ 65 °C
	タンパー	サポート対象
	電源	<ul style="list-style-type: none"> 電圧 : 12 Vdc 電流 : 最大 0.4 A
	寸法 (W x H x D)	80 x 120 x 11.4 (mm)
	証明書	CE、UKCA、KC、FCC、BIS、RoHS、REACH、WEEE

寸法

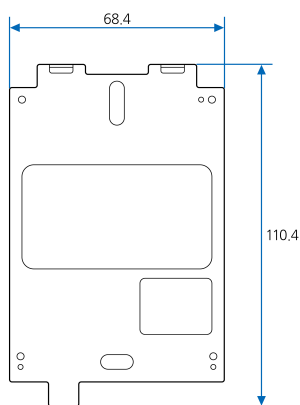
(単位 : mm)



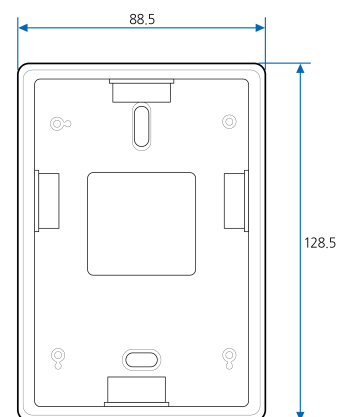
正面図



側面図



メインブラケット



拡張ブラケット

FCC 準拠情報

このデバイスは、FCC 規則第 15 部に準拠しています。

動作は、次の 2 つの条件に従います。

- (1) このデバイスは、有害な電波干渉を引き起こしてはなりません。また、
- (2) このデバイスは、望ましくない動作を引き起こす可能性のある電波干渉を含め、受信したあらゆる電波干渉を許容する必要があります。

注意：この装置は、FCC 規則の第 15 部に従って、クラス B デジタルデバイスの制限に準拠していることがテストおよび確認されています。これらの制限は、居住地域での設置において有害な電波干渉から適切に保護するためのものです。この装置は、無線周波エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しないと、無線通信に有害な電波干渉が発生することがあります。ただし、特定の設置で電波干渉が発生しないことを保証するものではありません。この装置のオフとオンを切り替えてみて、この装置によってラジオやテレビなどの受信に有害な電波干渉が発生することが判明した場合は、次の方法で電波干渉を解消してみてください。

- 受信アンテナの方向や場所を変更する。
- 装置と受信機の位置を離す。
- 受信機が接続されている回路とは別の回路のコンセントに機器を接続する。
- 販売店や、ラジオまたはテレビの経験豊富な技術者に相談する。

製造元によって明示的に承認されていない変更を行った場合、FCC 規則に基づき、ユーザーの装置を操作する権限が無効になる場合があります。

付録

免責事項

本文書は、Suprema の製品に関連する情報を提供するものです。使用権は、Suprema が保証する販売契約および条件で扱われる製品にのみ認められます。本文書で取り上げられていない知的所有権のライセンスは付与されません。

Suprema は、Suprema 製品の販売または使用に関して、特定の目的に対する適合性および商品適格性、ならびに特許権、著作権、または他の知的財産権の侵害について、一切の保証または責任を負わないものとします。

製品の誤作動により人が負傷または死亡する状況や、治療、人命救助、または生命維持に関する状況では、Suprema 製品を使用しないでください。上記のいずれかの状況でユーザーが事故に遭遇した場合、Suprema の従業員、子会社、支店、パートナー、および販売代理店は、設計または製造過程に重大な過失があると申し立てられた場合でも責任を免除され、また訴訟費用を含め直接または間接のあらゆる費用または経費についても責任を負わないものとします。

Suprema は、製品の安定性、機能、設計を向上させるために、製品の規格と仕様を通知することなく随時変更する場合があります。設計者は、「実装予定」または「未定義」と示されている機能や説明が随時変更される可能性があることに留意しておく必要があります。Suprema はできるだけ短期間でこのような項目を実装または定義しますが、互換性の問題など、発生した問題について一切の責任を負いません。

製品を注文する前に最新の仕様を取得するには、Suprema、Suprema の販売担当者、または地域の販売代理店にお問い合わせください。

著作権表示

Suprema が本文書の著作権を有します。その他の製品名、ブランド、商標の権利は、それらを所有する個人または組織に属します。



Suprema Inc.

17F Parkview Tower, 248, Jeongjail-ro, Bundang-gu, Seongnam-si, Gyeonggi-do, 13554, Rep. of KOREA
電話: +82 31 783 4502 | Fax: +82 31 783 4503 | お問い合わせ: sales_sys@supremainc.com



Supremaのグローバル支社の詳細については、
QRコードをスキャンして以下のWebページにアクセスしてください。
<https://www.supremainc.com/en/about/contact-us.asp>

© 2023 Suprema, Inc. 本書に記載されている Suprema および Suprema 社の製品名および番号は、Suprema, Inc. の登録商標です。Suprema 社以外のすべてのブランドおよび製品名は、それぞれの企業の商標または登録商標です。製品の外観、ビルドステータスおよび/または仕様は、予告なく変更されることがあります。